

島前高校だより

〒 684-0404
 島根県隠岐郡
 海士町福井
 1403
TEL
 08514-2-0731
Fax
 08514-2-9050
ホームページ
<http://www.shimanet.ed.jp/~dozen/>
Eメール
 dozen-01@shimanet.ed.jp
校訓
 真理・理想・進取

燃えた 県高校総体

五月二十八日から六月四日にかけて島根県各地で第四九回島根県高等学校総合体育大会が行われました。本校からも体育系の部が全て参加し、全力を尽くして戦ってきました。

その中で、ソフトテニス男子個人の太田・中川ペアは優勝候補の松江工業のペアを四回戦で撃破し、七位入賞を果たしました。また、本校体育館で競技のあったレスリング部は一七年連続二十三日目の団体優勝を果たし、インターハイ出場を決めました。

この結果、本校としては、男子総合Bグループで十二位となりました。

バスケット同好会

六月二日 金城総合体育館

一回戦
 隠岐島前—益田
 26—106



男子バレーボール部

六月二日 県立浜山体育館

一回戦
 隠岐島前—吉賀
 ①9—25
 ②10—25

0—2



女子バレーボール部

六月二日 県立浜山体育館

一回戦
 隠岐島前—出雲西
 ①9—25
 ②11—25

0—2



男子ソフトテニス部

六月二日～四日 県立浜山公園テニスコート

団体戦
 一回戦 VS 益田東
 二回戦 VS 松江南
 個人戦
 一回戦 江川・宇野ペア VS 浜田
 二回戦 佐藤・森ペア VS 津和野
 一回戦 青山・藤田ペア VS 出雲北陵
 二回戦 出雲北陵
 三回戦 松江高専
 一回戦 竹村・亀原ペア VS 出雲北陵
 二回戦 浜田
 三回戦 松江工業
 一回戦 梶谷・直塚ペア VS 出雲
 二回戦 大脇・中川ペア VS 大社
 三回戦 大社
 四回戦 松江工業
 五回戦 松江北
 準々決勝 VS 江津工

1 3
 2 0
 1 4
 2 4
 4 2
 0 4
 4 3
 3 4
 4 1
 4 0
 3 4
 4 3
 4 3
 4 0
 4 2
 4 3
 4 4



女子ソフトテニス部

六月二日～四日 県立浜山公園テニスコート

団体戦
 一回戦 VS 浜田商
 二回戦 VS 松江北
 個人戦
 一回戦 口村・吉元ペア VS 出雲商
 二回戦 中山・宇野ペア VS 松江商
 一回戦 津和野
 二回戦 松江東
 一回戦 福島ペア
 二回戦 福島ペア

0 2
 2 1
 0 4
 4 1
 1 4
 4 1
 0 4
 4 1
 0 4
 4 1



レスリング部

五月二十八日 隠岐島前高等学校

団体戦
 VS 松江工業
 7—0
 優勝

個人戦
 矢野富三 優勝
 藤田将貴 優勝
 西澤一希 3位
 敷貴久 優勝
 和田佳祐 3位
 和本息生 優勝
 川本優人 2位
 渡辺優人 3位
 村上淳樹 優勝
 山本貴也 優勝
 池田翼 優勝
 山根颯一郎 3位



生徒・顧問の感想

男子バレー部主将

僕たち男子バレー部は6月2日に行われた県総体に参加しました。結果はセットカウント2対0で負けてしまいました。しかし、試合自体はともよいものだったように思います。新人戦、中国予選の時に比べて、たくさん声が出ていてチームメイト全員が一つになつて、ボールを追いかけることができました。

今後は、3年生はそれぞれ自分の進路を実現させるために日々努力していき、1、2年生は今回の大会で得た課題や強豪校の試合を見て学んだことなどを生かして、部活に取り込んでもらいたいです。

男子テニス部顧問

初戦がシードで、二回戦からの出場となりました。二回戦、三回戦とも硬さが見られ、序盤はリードを許す苦しい展開となりました。しかし、開き直つたことが功を奏して、徐々にペースをつかみ勝利を収めました。

四回戦は、昨年度県選手権、新人戦、インドア選手権を制した優勝候補筆頭の松江工業の石田・水津ペアとの戦いとなりました。二・三回戦とはうって変わって、序盤からリードする展開でしたが、さすがに相手も粘り強く追いつき、まさに一進一退の手に汗握る戦いとなりました。大脇・中川ペア

アはお互いにコミュニケーションをとりながら終盤も集中力を切らさずことなく、ついに松江工業ペアを撃破しました。

残念ながら準々決勝で破れはしましたが、離島のハンデを乗り越え、堂々のベスト八入りを果たしたことは島民に大きな夢と希望を与えてくれました。

今後は、七月二十一日から山口県宇部市行われる中国大会での更なる活躍を期待します。

二年生女子(レスリング)について
 選手が一つ一つの試合を最初から最後まで全力で戦い、間髪無く繰り出される技の数や速さ、最後まで粘り続ける姿勢など、普段のきつい練習に耐えてきた成果が発揮された内容となりました。また試合中は選手だけでなくチームの仲間全員が必死に応援して声をかけたり、アドバイスをしたり、ポイントを取り取られるたびに一喜一憂していたのも印象的でした。島前高校レスリング部のチームワークと団結力が強く感じられました。

今回の大会で、島前高校のレスリング部の強さと団結力を改めて感じました。戦っている選手だけでなく、他の選手も一緒になって応援したりアドバイスをしたり、一人で戦うのではなく、みんなが一丸となつているところに島前高校の強さがあると思います。それはレスリングのみならず他の部活にも共通して言えることです。



平成二十二年度 進路結果報告

1. 四年制大学					
校種	大学名	学部	学科	合格者 延べ数	
国公立	金沢	人間社会学	人文学類	1	
	滋賀	教育		1	
	島根	法文	言語文化	1	
	広島	経済	経済	1	
	山口	経済	経済	2	
	名古屋市立	看護	看護	1	
	小計				7
	私立	専修	経営	経営	1
		東京経済	経営	経営	1
		法政	法	政治	1
明治		政経	政治	1	
名古屋商科		経営	経営情報	1	
日本赤十字豊田看護		看護		1	
大阪商業		総合経営	商学	1	
立命館		経済	経済	2	
立命館		経済	国際経済	1	
立命館		文	日本文	1	
小計				11	
合計				18	

2. 専門学校			
学校名	コース・専攻名	合格者 延べ数	
ソウニエ看護専門学校	看護科	1	
松江調理製菓パンカレッジ	製菓衛生師科	1	
新大阪歯科理工専門学校		2	
島根県立農業大学校	園芸畜産科肉用牛専攻	1	
松江総合ビジネスカレッジ	トータルマネージメントコース	1	
大坂ビューティアート専門学校	美容科	1	
ヒューマンアカデミー東京校	マンガ専攻	1	
トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校	介護福祉学科	1	
大原法律公務員専門学校	文化授業専門過程	1	
松江看護高等専門学校	看護科	2	
島根総合福祉専門学校	介護福祉士科	1	
大阪中央理容美容専門学校	理容科	1	
愛知総合看護専門学校	看護科	1	
名古屋医療センター付名古屋看護助産	看護科	1	
合計			15

3. 就職・公務員		
所在地	事業所名	合格者 延べ数
県内	海士町 中ノ島総合クリーンセンター	1
	海士町 諏訪苑	1
県外	陸上自衛隊	1
	合計	3

歩こう会

四月二十一日に学年・クラス内の親睦を図るとともに長距離を歩くことで体力の保持増進を図ることをねらい、「歩こう会」が行われました。

一年生は中里から東宇賀・北分・明屋海岸を経て、金光寺で昼食休憩、海士を通って空き缶を拾いながら帰る、という夢のようなコース。寮生の女子四人は予め下見に。当日朝は「オー！」と



三年生にとって最後の「歩こう会」は西ノ島摩天崖を目指し、それぞれ楽しみながら歩きました。来年の春、多くの生徒が隠岐から離れて生活をはじめます。みんな歩いてきたから出かけた素晴らしい隠岐の風景が、いつの日か生徒を勇気づけてくれる宝物になっていることと思います。

生徒会新体制スタート

次の通り、新しい生徒会が発足しました。学校が少しでもよくなるように、力を尽くしてくれると思います。期待しております！

生徒会執行部					各種委員長							
会長	副会長	書記	会計	選管委員長	議長	副議長	会計監査	会計監査	体育委員長	保健委員長	文化委員長	図書委員長
大脇政人	川崎乃愛	中川慎哉	伊藤美咲	大野紗季	吉元麻湖	木村優介	青山達哉	福島愛海	山口大貴	佐藤杏樹	近藤弘志	高橋政成

前期生徒会長に選ばれました、大脇政人です。前期最大のイベントである学園祭を、生徒一人ひとりが活躍出来るようなものにしたいと思っております。昨年と違い、日程が大きく異なるため、非常に忙しくなるとは思いますが、ことような時こそ、生徒ひとり一人の力が試されるとは思います。今回の学園祭では、生徒が主体的となり、地域と一体となった学園祭をめざし、努力して参りたいと思っております。

新生徒会長 大脇政人

地域学

地域学とは、今年度から新たに開設された本校にしかない独自の科目です。島前地域の優れた専門家を講師に招き、地域の魅力や課題を学び、生徒自身が解決方法を考え実践を通して、日本の課題や文化を学ぶとともに、地域文化を継承し未来を担うことをねらいとしていきます。

一学期中は、シオン保育園の園長や島前町の福間さん、西ノ島町の福間さん、隠岐ジオパークの方々など、10人以上の外部講師にご協力いただきました。二学期からは生徒が自分達で取り組みたいテーマを設定し、島前地域の課題解決に向けて企画を行います。生徒たちの活動にご協力をお願いします。



ヒトツナギ

皆さんお待ちたせしました。八月七日から、島前三町村を舞台に第二回「ヒトツナギ」を行いました。一年生が五名加わり新体制となった今、総勢七名のスタッフで前回のヒトツナギを越えるものを創り上げるため、チーム一丸となつて知恵を絞っています。

今回は、メンバー自身も多くの人とつながることを活動方針としています。参加した皆さんが、「島にはこんな素晴らしい人たちがいる」「島で味わえないこんな素敵な体験がある」と紹介したくなるような企画を準備しています。

前回以上に多くの方々のお世話になるとは思いますが、参加者・関係者の皆様が感動するヒトツナギを目指しますので、ご協力ならびに応援よろしくお願ひします。

ヒトツナギスタッフ一同

魅力化全体会

島前高校魅力化を進めるための組織として三町村の首長、議長、教育長、中学校長などをメンバーとする「隠岐島前高等学校の魅力化と永遠の発展の会」(通称「魅力化の会」と、地域住民、保護者、高校教員をメンバーとする「隠岐島前高等学校魅力化推進協議会(通称「推進協議会」)の二つがあります。役割が違いますが、普段はそれぞれで会合を開いていますが、今回は二つの組織の交流を図り、島前高校の魅力化の気運を高めることをねらい、合同の会としました。

会の中では、魅力化の背景や経緯、昨年度の事業・決算報告、今年度の予算・業計画等について事務局より説明をした後、協議の時間をとりました。意見交換をしやすいするために六つのテーブルに分けて行いました。どのテーブルでも熱心に議論がなされ、活発な会となりました。今回、情報提供として、離島中山間地高校の魅力化活性化事業についても高校教員から紹介しました。また、国語科の山本先生(毫(きこう)の「島前ボロシヤツ」の幹旋もあり、地域と高校が一体となった魅力化・活性化のスタートを感じることができました。

